カーナビゲーションシステムにおける ブラウジング技術

西川正治*
佐々木幹郎**
前田淳志*

Internet Browsing Technology for Car Navigation System

Masaharu Nishikawa, Mikio Sasaki, Atsushi Maeda

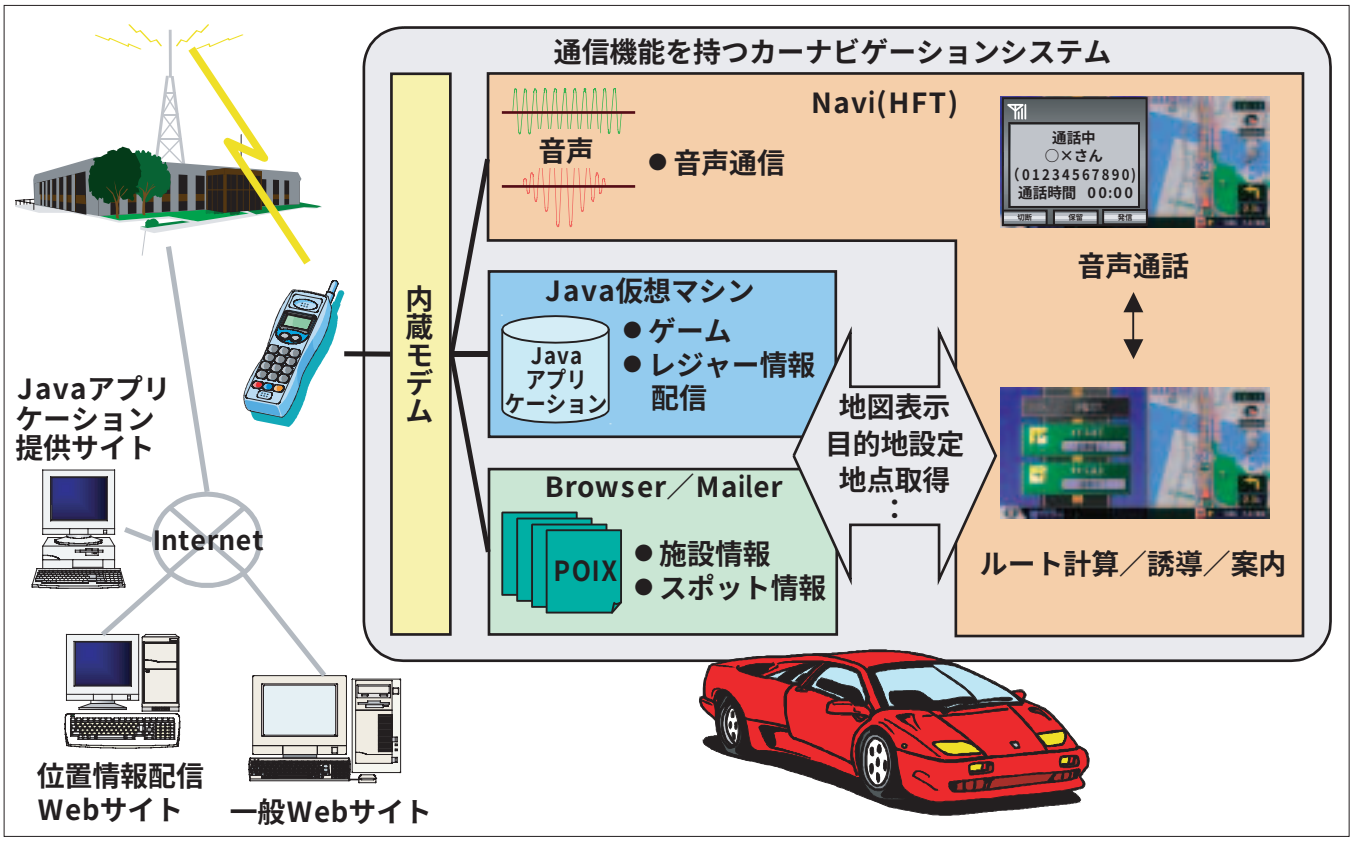
要　旨

カーナビゲーションに代表される車載情報端末は，1980年代初頭に発売されて以来，飛躍的な進歩を遂げてきた。1990年代には無線通信を用いた交通情報配信サービスVICS(Vehicle Information and Communication System)が開始され，車外からリアルタイムに交通情報を受信できるようになった。現在では，交通情報だけでなくエンタテインメント性の高い情報も車外から取り入れる，又は車内から発信する機能への要求が強まっている。

このような要求にこたえるため，三菱電機では，市販向けに通信機能を持つカーナビゲーションシステムを開発してきた。通信機能は携帯電話を利用しインターネット網へのアクセスが可能であるなど，HFT(Hands Free Telephone)が可能となる。インターネット上のコンテンツを処理するために，カーナビゲーション用ブラウザを開発した。また，Java(注1)仮想マシンを搭載することで，Javaアプリケーションをカーナビゲーション上で実行できる環境を開発した。Javaの提供する通信機能を用いれば，Javaアプリケーションでもインターネット網での通信が可能である。

上記ブラウザやJavaアプリケーションは，ナビゲーション機能との連携処理を可能としており，読み込んだコンテンツがナビゲーション機能を活用することができる。その結果，位置情報を扱ったコンテンツによる新しい通信サービスを可能にした。

(注1)　Java及びJavaに関連する商標は，米国Sun Microsystems, Inc.の米国及びその他の国における商標又は登録商標である。



インターネットとのデータ通信を行う車載情報端末

通信機能を持つカーナビゲーションシステムは，音声通信だけでなく，インターネット網でのデータ通信が可能となる。ブラウザやJava仮想マシンを搭載してインターネット上のコンテンツを車載情報端末上で再生し，より多くの情報サービスをユーザーに提供する。